

講演テーマ



防災気象情報を理解して 大切な人を守る

日本の各地で毎年のように気象災害が発生し、尊い人命が失われてしまったというニュースが流れてきます。土木や建築の分野では、気象災害による被害を防ぐため、各種のハード対策が進められていますが、それにも限界があります。気象庁は、気象災害軽減のため、その時の危険度レベルに応じた防災気象情報を発表しています。これは地方自治体などの防災関係機関が行うソフト対策を支援するとともに、住民の皆さん自身の避難行動にも利用いただくことができる情報です。これからは秋の台風シーズン。本講演では、気象庁が発表する防災気象情報とその意味、利用方法を紹介します。

平成30年7月豪雨 気象庁職員提供



講師 **お ば た ゆ た か**
小 畠 豊 氏
大阪管区気象台気象防災部
気象防災情報調整官

略歴：高松地方気象台からスタートし、徳島、岡山などの地方気象台では気象予報および気象観測を担当。
神戸海洋気象台(現：神戸地方気象台)では、気象庁観測船による赤道までの海洋観測を実施、エルニーニョ・ラニーニャに関する研究に関わる。2012年から2年間、大阪府都市整備部で水防を担当、以降、大阪管区気象台や広島地方気象台などでは気象防災を担当して、2023年4月より現職。徳島市出身。

WEB配信での視聴をご希望の方は…

無料
配信

配信期間

令和**6**年**9**月**21**日(土)～令和**7**年**3**月**31**日(月)

講演資料も、配信期間中に閲覧およびダウンロードいただけます。

視聴方法

大阪建築防災センターホームページ内「令和6年度秋季建築物防災講演会」にアクセスいただき、ご視聴ください。

<https://www.okbc.or.jp>

パソコン、タブレットなどの端末とインターネット環境があれば視聴可能です。
※ご使用される端末、インターネット環境により視聴できない場合もございます。

お問合せ

(一財)大阪建築防災センター 企画耐震部
☎06-6942-0190 info2@okbc.or.jp

講演会詳細



建築物防災講演会の詳細についてはこちらから

主催 一般財団法人 大阪建築防災センター

後援 大阪府 大阪市 豊中市 堺市 東大阪市 吹田市 高槻市 守口市 枚方市 八尾市 寝屋川市 茨木市 岸和田市 箕面市 門真市 池田市 和泉市 羽曳野市

協賛 建築物防災推進協議会